

(4) 一日の流れ (晴天時)

時 間	☆ 予 想 さ れ る 幼 児 の 生 活	★ 保 育 者 の 援 助 と 留 意 点
9 : 0 5	☆ 登園する。 ☆ 登園時の活動をする。 ・ シールをはる。 ・ 連絡帳を出す。 ・ タオルを掛ける。 ・ ランドセルや帽子などをロッカーにしまう。 ・ 防寒着を掛ける。 ☆ 好きな遊びをする。 ・ ごっこ遊びをする。 ・ 体を動かして遊ぶ。 ・ つくって遊ぶ。 ・ 自然と触れ合う。 ・ 砂や水を使って遊ぶ。 ・ 積み木やブロックで遊ぶ。 など	〔登園する 登園時の活動をする〕 ★ 一人一人の子どもたちと笑顔であいさつを交わしたり、楽しく会話をしたり、スキンシップを図ったりしながら、咳や鼻水は出ていないか、顔色はどうかなど、今朝の子どもたちの健康状態を把握する。 ★ 友だちや保育者に進んであいさつをしたり、友だち同士であいさつをしたりする姿を認め、楽しく一日が始まるようにしたい。 ★ 所持品の始末を自分でする姿を認め、なかなか進まずにいる子どもには言葉掛けをしながら、自分で進めることができるように促す。 〔つくって遊ぶ〕 ☆ 空き箱やロールペーパー芯を使って、つくりたいものをつくり、友だちや先生につくったもののイメージを伝える。 ☆ お店屋さんに必要な品物を友だちや先生と話し合いながら一緒につくる。 ☆ つくったものを使って、友だちと遊ぶ。 ☆ 表や本を見ながら、折り紙を折る。 ★ 必要な素材や用具などを子どもたちが使いやすい場所に用意しておき、自分のつくりたいものを自由につくることができるようにする。 ★ つくったもののイメージを共有し、出来上がった喜びに共感する。 ★ 用具などの安全な使い方や片付け方に配慮する。 〔ごっこ遊びをする〕 ☆ 友だちと話し合って役割を決め、お店屋さんごっこやヒーローごっこなどをする。 ☆ 友だちや先生を客として招き、自分たちが用意したものを使って遊ぶ。 ☆ 自分のなりたい役になりきって遊ぶ。 ★ 子どもたちが遊びに必要なものを用意しておく。 ★ 自分たちでイメージを伝え合いながら遊ぶ様子を見守り、保育者も仲間となって加わりたい。 ★ 遊びをさらに楽しむために必要なものを、子どもたちの考えを聞いたり、保育者が提案したりして用意していく。 〔環境構成〕 ア：ガムテープ、平テープ、モール、ストロー、花紙、紙皿、お面のわっか、色画用紙、ポリ袋、毛糸 など イ：空き箱、ロールペーパー芯、カップ、牛乳パック、折り紙など ウ：セロハンテープ、カセットテープ、ラジカセ、楽器、ブロック、車 エ：ままごと道具(皿、鍋、コップ、コンロ など) オ：スカート、エプロン、ふとん、人形 カ：ソフト積み木 キ：水槽(金魚) ク：チューリップ ケ：長縄 コ：砂場道具(洗面器、スコップ、バケツ、皿、スプーンなど) 〔積み木やブロックで遊ぶ〕 ☆ 大型積み木やソフト積み木を積み上げたり、並べたりして、船や家をつくる。 ☆ ブロックをつなげて好きな形をつくる。 ★ 友だちと一緒につくる姿を見守り、そのイメージを聞きながら子どもたちの楽しさを共有したい。 ★ 大型積み木では、安全面に気を付けるよう、必要に応じて言葉掛けをする。 〔砂や水を使って遊ぶ〕 ☆ 友だちや保育者と一緒に山や川をつくる。 ☆ 白砂を集めたり、砂に水を混ぜて、ドロドロ、サラサラした感触を楽しんだり、スープや団子などの料理をつくったりする。 ☆ 遊びに必要なものを友だちと話をしながらそろえ、自分たちの遊びに合った場所を選ぶ。 ☆ つくったものを皿やカップに入れて並べ、友だちや先生にごちそうする。 ★ 砂と水が混ざる感触を楽しみながら遊ぶ姿を見守り、様子を見ながら保育者も客となって遊びに加わり、子どもたちのイメージに共感する。 ★ 遊ぶ様子を見ながら、テーブルの上を整えたり、空間を確保したりして、遊びがさらに楽しくなるような雰囲気づくりに努める。 〔体を動かして遊ぶ〕 ☆ かくれんぼや鬼ごっこをする。 ☆ 竹馬をする。 ☆ 友だちと一緒に園庭を駆け回る。 ★ かくれんぼや鬼ごっこなどルールのある遊びを友だちと誘い合って楽しむ姿を大切に、保育者も一緒になって遊ぶ。ルールを子どもたち同士で確認できるように言葉掛けしながら、子どもたちなりに遊びを進めようとする姿を認め、必要に応じてルールなどの補うようにする。 ★ 縄跳びや竹馬、固定遊具に挑戦する姿を励まし、一人一人の実態に合わせた言葉掛けを行う。以前よりも上達した喜びに共感し、もっとやってみたいという気持ちを大切にしたい。 ★ 園庭を駆け回ったり、跳び縄を楽しんだりするなど積極的に体を動かして遊ぶ姿を大切に、寒い中でも体が温かくなり、体を動かす心地よさを一緒に感じるようにする。 10 : 10 10 : 30 11 : 00 ☆ 片付ける。 ☆ 降園時の活動をする。 ・ 指遊びをする。 ・ 歌を歌う。 ・ 絵本を見る。 ・ 先生や友だちと一日を振り返る。 ・ 次週のことについて知る。 ☆ 降園する。 〔片付ける〕 ★ 子どもたちが自分で取り組む姿を認め、保育者も一緒になって片付けをする。 ★ 片付けが進まない子どもには、手順を伝えながら片付けに参加できるように促す。 ★ 自分の場所の片付けが終わったら、まだ終わっていない友だちの手伝いができるように言葉掛けをする。 ★ みんなで力を合わせて片付けをすることの楽しさや、片付けをした後の気持ちよさを一緒に味わうことができるような言葉掛けをする。 〔降園時の活動をする 降園する〕 ★ 手洗い・うがいを進んでする姿を認め、風邪の予防について話題にしながら一緒に行うようにする。 ★ 指遊びをしたり、歌を歌ったりして、みんなで楽しく過ごしながら落ち着いた雰囲気づくりに努める。 ★ 絵本を見て感じたことを、自分なりの言葉で全体の場で紹介する時間を設け、友だちの前で思いを伝える楽しさを感じたり、友だちの話に興味をもって聞いたりすることができるようにしたい。 ★ 今日一日の楽しかったことなどを振り返ったり、次週の予定などを話したりして、次週の園生活に期待をもって降園できるようにしたい。

(4) 一日の流れ (雨天時)

時 間	☆ 予 想 さ れ る 幼 児 の 生 活	★ 保 育 者 の 援 助 と 留 意 点
9 : 0 5	☆ 登園する。 ☆ 登園時の活動をする。 - 傘やレインコートを片付ける。 - シールをはる。 - 連絡帳を出す。 - タオルを掛ける。 - ランドセルや帽子などをロッカーにしまう。 - 防寒着を掛ける。 ☆ 好きな遊びをする。 - ごっこ遊びをする。 - 自然と触れ合う。 - つくって遊ぶ。 - 積み木やブロックで遊ぶ。 など	【登園する 登園時の活動をする】 ★ 一人一人の子どもたちと笑顔であいさつを交わしたり、楽しく会話をしたり、スキンシップを図ったりしながら、咳や鼻水は出ていないか、顔色はどうかなど、今朝の子どもたちの健康状態を把握する。 ★ 友だちや保育者に進んであいさつをしたり、友だち同士であいさつをしたりする姿を認め、楽しく一日が始まるようにしたい。 ★ 所持品の始末を自分でする姿を認め、なかなか進まずにいる子どもには言葉掛けをしながら、自分で進めることができるように促す。 【つくって遊ぶ】 ☆ 空き箱やロールペーパー芯を使って、つくりたいものをつくり、友だちや先生につくったもののイメージを伝える。 ☆ お店屋さんに必要な食べ物や飲み物などを友だちや先生と話し合いながら一緒につくる。 ☆ つくったものを使って、友だちと遊ぶ。 ☆ 友だちや先生と一緒に表や本を見ながら折り紙を折り、分からないところを教えてもらったり、教えてあげたりする。 ☆ 粘土で動物やケーキなど、自分のイメージしたものをつくったり、クレヨンで絵を描いて遊ぶ。 ★ 必要な素材や用具などを子どもたちが使いやすい場所に用意しておき、自分のつくりたいものを自由につくることができるようにする。 ★ つくったもののイメージを共有し、出来上がった喜びに共感する。 ★ 自分でつくろうとする意欲を大切にしながら、様子を見て言葉掛けをしたり、手伝ったりする。 ★ 用具などの安全な使い方や片付け方に配慮する。 【ごっこ遊びをする】 ☆ 友だちと話し合って役割を決め、お店屋さんごっこやヒーローごっこなどをする。 ☆ 友だちや先生を客として招き、自分たちがつくったものを並べるなどの用意をして遊ぶ。 ☆ 自分のなりたい役になりきって遊ぶ。 ★ 子どもたちが遊びに必要なものを用意する。 ★ 自分たちでイメージを伝え合いながら遊ぶ様子を見守り、保育者も仲間となって加わりたい。 ★ 遊びをさらに楽しむために必要なものを、子どもたちの考えを聞いたり、保育者が提案したりして用意していく。 【環境構成】 (プレイルーム) (保育室) (園庭) ア：ガムテープ、平テープ、モール、ストロー、花紙、紙皿、お面のわっか、色画用紙、ポリ袋、毛糸 など イ：空き箱、ロールペーパー芯、カップ、牛乳パック、折り紙など ウ：セロハンテープ、カセットテープ、ラジカセ、楽器、ブロック、車 エ：ままごと道具 (皿、鍋、コップ、コンロ など) オ：スカート、エプロン、ふとん、人形 カ：ソフト積み木 キ：水槽 (金魚) ク：チューリップ ケ：長縄 コ：砂場道具 (洗面器、スコップ、バケツ、皿、スプーンなど) 【積み木やブロックで遊ぶ】 ☆ 大型積み木やソフト積み木を積み上げたり、並べたりして、船や家をつくる。 ☆ 自分たちの遊びのイメージに合わせて、積み木を並べる。 ☆ ブロックをつなげて好きな形をつくる。 ☆ ブロックや車を組み合わせてつくったもののイメージを、友だちや先生に伝える。 ★ 友だちと一緒につくる姿を見守り、そのイメージを聞きながら子どもたちの楽しさを共有したい。 ★ 大型積み木では、安全面に気を付けるよう、必要に応じて言葉掛けをする。 【体を動かして遊ぶ】 ☆ マットや跳び箱を使って、転がったり跳んだりする。 ☆ 音楽に合わせて踊ったり、おしくらまんじゅうや、はないちもんめをして体を動かしたりする。 ★ マットや跳び箱を使うときは、安全面に気を付けるよう、必要に応じて言葉掛けをする。 ★ 積極的に体を動かして遊ぶ姿を大切にし、寒い中でも体が温くなり、体を動かすことが心地いいことを一緒に感じるようにする。 【自然と触れ合う】 ☆ 吐く息の白さや手の冷たさなど冬の寒さの中で感じたことを、友だちや先生と話す。 ☆ 保育室の金魚やメダカに餌をあげる。 ☆ 雨が降る様子やいつもよりも暗い園庭、空の様子などを見ながら、気付いたことや考えたことを友だちや先生と話す。 ☆ 雨水を集めたり、雨が落ちる音を聞いたりする。 ★ 冬ならではの季節感を存分に味わえるように、気付いたことを話す姿を受け止めながら、保育者自身が感じたことも子どもたちに伝え、様々な発見と一緒に楽しむようにする。 ★ 生き物に興味をもつ姿を大切にし、餌をあげる姿を大切にしながら、生命の大切さについても機会をとらえて触れていきたい。 ★ 雨の園庭を散歩する子どもには、濡れないように気を付けることを伝え、室内に戻ってきて感じたことを話す姿を受け止めたい。
1 0 : 1 0		
1 0 : 3 0	☆ 片付ける。 ☆ 降園時の活動をする。 - 指遊びをする。 - 歌を歌う。 - 絵本を見る。 - 先生や友だちと一日を振り返る。 - 次週のすることについて知る。 ☆ 降園する。	【片付ける】 ★ 子どもたちが自分で取り組む姿を認め、保育者も一緒になって片付けをする。 ★ 自分の場所の片付けが終わったら、まだ終わっていない友だちの手伝いができるように言葉掛けをする。 ★ みんなで力を合わせて片付けすることの楽しさや、片付けをした後の気持ちよさを一緒に味わうことができるような言葉掛けをする。 【降園時の活動をする 降園する】 ★ 手洗い・うがいを進んでする姿を認め、風邪の予防について話題にしながら一緒に行うようにする。 ★ 指遊びをしたり、歌を歌ったりして、みんなで楽しく過ごしながら落ち着いた雰囲気づくりに努める。 ★ 絵本を見て感じたことを、自分なりの言葉で全体の場で紹介する時間を設け、友だちの前で思いを伝える楽しさを感じたり、友だちの話に興味をもって聞いたりすることができるようにしたい。 ★ 今日一日の楽しかったことなどを振り返ったり、次週の予定などを話したりして、次週の園生活に期待をもって降園できるようにしたい。 ★ 季節に合った歌を歌ったり、絵本を見たりすることで、季節感を感じられるようにしたい。
1 1 : 0 0		